

## 第43回全国少年柔道大会島根県予選要項

1. 趣 旨 柔道の基本技能を正しく修得し、本県の将来を担う新進とともに健康な小学生児童を育成するとともに、相互の親睦を図る。
2. 主 催 島根県柔道連盟
3. 期 日 令和5年3月5日(日) 10:00～  
8:00～ 選手受付  
※役員・審判員受付は9:30まで  
8:10～8:30 予備計量  
8:30～9:00 本計量  
9:30～ 保護者受付  
9:30～9:50 審判・監督会議  
10:00～ 開会セレモニー、
4. 会 場 島根県立石見武道館 (浜田市黒川町3735 ☎0852-22-5711)
5. 参加資格
  - 1)参加チームは2022年度に団体登録をしていること。また、選手はその団体から登録をしていること。
  - 2)参加チームの監督は指導者登録をしていること。(公認指導者資格を記入)
  - 3)参加する選手は、原則として令和5年4月現在で小学校5年生・6年生の男・女児童とする。但し、5年生の補充として4年生をもって充てることができる。
6. チーム編成
  - 1)1団体1チームのみ参加できる。(混成チームは認めない)
  - 2)1チームは監督1名、選手5名とする。(補員は2名とする)
  - 3)選手の編成は、大将・副将・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生又は4年生とし、学年順に配列する。但し、1学年下の児童が1学年上の位置に出場することはできない。また、選手は学年順に配列し、同学年の選手は体重順に配列すること。(体重の重い選手が大将)補員がいる場合で、4名以下の選手登録は認めない。
  - 4)選手の変更は申込書に記載された補欠からに限り行うことができる。一旦退いた選手は、その後の試合に出場することはできない。
  - 5)各チーム初戦の選手変更は審判・監督会議前までに行うこと。また、審判・監督会議後の事故等により出場できなくなった場合は欠員のままとする。
7. 試合方法
  - 1)トーナメント戦を行う。
  - 2)各チーム5名の点取り対抗戦とする。
  - 3)チーム間の勝敗決定方法は、次のとおりとする。
    - ア.勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - イ.勝ち数が同じときは内容(「一本勝ち」「技有り」の勝ち数)による。
    - ウ.内容も同じときは、代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。代表戦に出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で1組を選んで通常の3分間の試合を行う。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。(GSは行わない。)なお、引き分けがない場合は、任意の選手とする。

8. 試合細則
- 1) 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定による。
  - 2) 試合時間 3分間  
判定基準 「一本」「技あり」「僅差(指導差2)」とし、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
9. 表彰 第1位から第3位まで表彰する。
10. 参加申込
- 1) 締め切り **令和5年2月2日(木)** 必着のこと  
(大変申し訳ありませんが、準備の関係上、期限厳守でお願いします。)
  - 2) 申込先 **imasan\_hidesan@yahoo.co.jp**
  - 3) 申込用紙 県柔連のホームページから申し込み用紙をダウンロードして上記アドレスに申し込んでください。  
申し込み用紙に合わせて、**入館者名簿**も一緒に送付をお願いします。
  - 4) 参加料 1チーム3,000円  
振込先 **山陰合同銀行 古志原支店 普通 4501343**  
全国少年大会県予選 代表 山崎敦嗣  
※抽選後不参加の場合、参加料は返却しない。  
当日の現金の受付は行いません。
11. 抽選 令和5年2月5日(日) 島根県柔道選手権大会終了後 島根県立武道館
12. 計量 令和5年3月5日(日) 8:30~9:00 島根県立石見武道館  
計量時の服装は、Tシャツ・短パンとする。
13. 全国大会 優勝チームは、5月4、5日講道館で開催される全国少年大会に、島根県代表として出場する資格を与える。
14. その他
- 1) 保険については県柔道連盟が下記のものに加入する。  
死亡傷害 500万円  
入院時 5,000円/日  
通院時 3,000円/日
  - 2) 柔道着等について  
ア. 柔道着は審判規定に適合したものを着用する。(「認証ラベル」は不要)  
イ. 所属する団体のゼッケンをつける。  
ウ. 女子は白又は白に近い色の無地のTシャツ若しくは半袖レオタードを着用する。(ワンポイントは可、肌着は不可)  
エ. 試合中に柔道着が破損等した場合は交換できる。(ゼッケンは言及しない。)
  - 3) 脳しんとうについて  
ア. 大会1ヶ月以内に受傷した者は脳神経外科の診察を受けて出場の許可を得る。  
イ. 大会中受傷した者は継続して大会に出場することは不可とする。  
ウ. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得る。  
エ. 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対して書面により事故報告書を提出する。

#### 4) 個人情報・肖像権について

- ・報道機関に記載の提供を求められた場合は提供をする。参加申込みに記載された個人情報(名前、学校名、学年、階級)、大会中に撮影された写真、又は動画が大会プログラム、県柔連ホームページに掲載される場合があります。また、報道機関等により、報道される場合があります。
- ・参加申込みに記載された個人情報、大会中に撮影された写真、又は動画が大会プログラム、県柔連ホームページに掲載される場合があります。また、報道機関等により、報道される場合があります。
- ・提出された個人情報等については、大会の利用目的以外に使用することはありません。
- ・参加申込みにより、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応させていただきます。

14. 留意事項(令和4年5月11日付 全日本柔道連盟の『試合再開の指針修正』を遵守して大会を開催する。)

#### 新型コロナ感染防止対応(共通)

○大会前1週間の健康状態が良好(発熱や咳・咽頭痛などの症状がない)であり、その状態について記入してある健康記録表を提出した者のみ会場への入場を許可する。※以下の場合にも入場を許可しない。

- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

○検温で37℃以上の場合は、入場を許可しない。

○健康記録表(様式1)は主管が管理し、1ヶ月間保管する。

○大会参加および観戦後10週間以内に、新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合には、主催に報告する。

○健康記録表(様式1)の個人情報については、感染拡大防止対策のためにのみ利用する。

○大会会場内では競技中の選手および主審以外はマスクを着用すること。

○大声での応援や指導は厳に慎む。

#### (選手)

○健康記録表兼同意書を受付で提出し、検温後、「許可証」を受け取る。

○本大会は1チームに対して、監督又はコーチ1人、出場登録選手のみ入館可能とする。

#### (大会役員・審判員)

○健康記録表兼同意書を受付で提出し、検温後、「許可証」を受け取る。

(その他)

○新たに県内での新型コロナウイルス感染者が発生するなど状況が変化した場合、大会開催の中止もあり得る。

○本大会は出場登録選手1人に対し関係者（引率保護者等）2人まで可能とする。

（健康記録表兼同意書を受付で提出した方のみ。）また、関係者（引率保護者等）の入館者名簿を作成し参加申し込み時にあわせて送付すること。

15. 問い合わせ先 島根県柔道連盟事業部長 山崎敦嗣 TEL 090-7995-9666